※令和４年度以降入学生用

学校番号	1016

令和５年度　英語科

教科	科目	単位数	指導学年	教材名・副教材名
英語	総合英語Ⅰ	2	2	マイウェイ総合英語 マイウェイ総合英語 文法＆ワーク

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・身近な事柄について簡単な英語で表現するための知識をさらに理解しましょう。
・身近な事柄についての英語を聞いたり読んだりして、それについて学習した文法事項を活用して表現しましょう。
・英語学習について振り返りながら、協力してより主体的に学習に取り組みましょう。

2 学習の到達目標（「CAN-DO リスト」の形での学習到達目標）

【第１学年】

領域	聞くこと	読むこと	話すこと（やり取り）	話すこと（発表）	書くこと
学習到達目標	・ゆっくりはっきりと話されれば、短い簡単な指示を理解することができる。 ・身近なトピックに関する短い会話を聞いて、概要や要点を理解することができる。	・簡単な語や表現で書かれた短い物語を読み、あらすじや情景を理解することができる。 ・身近なトピックに関して簡単な語句や表現を用いて書かれた短い説明や手紙を読み、概要や要点を理解することができる。	・日常的な事柄や自分のこと、身の回りのことについて、簡単なやりとりをすることができる。 ・決まった表現や形式を用いて、日時や場所について質問したり、質問に答えたりすることができる。	・前もって準備した上で、決まった表現や形式を用いて実物を示しながら、その物について簡単な説明をすることができる。 ・身近なトピックにいて、理由とともに分の意見を簡単にすることができる。	・基本的な語句や表現、文法事項などの知識を活用して簡単な英文（１文）を書くことができる。 ・聞いたり読んだりした内容について、簡単な語句や表現を用いて意見や感想を書くことができる。

3 学習評価(評価の観点と実施方法)

観点	a 知識・技能	b 思考・判断・表現	c 主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	外国語の音声や語彙、文法、機能などの理解をさらに深めるとともに、これらの知識・技能を「聞くこと、読むこと、話すこと、書くこと」による実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面に応じてより正確に活用している。	コミュニケーションを行う目的や場面に応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で概要や要点、相手の意図などをさらに理解し、より適切に表現している。	外国語の背景にある文化に対する理解をさらに深め、相手に配慮しながら、より主体的、対話的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまり（領域）ごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	課 “題材名”	領域	評価規準	評価方法
1	LESSON 1 動詞の種類と時制① 基礎編(1) LESSON 2 動詞の種類と時制① 基礎編(2) LESSON 3 動詞の種類と時制① 応用編	聞くこと	a: be 動詞・一般動詞、現在進行形・過去進行形、未来表現について音声や機能を考えながら、正確に相手の意図を理解できる。 b: be 動詞・一般動詞、現在進行形・過去進行形、未来表現について音声や機能を考えながら、支援を活用し、相手の意図を理解できる。 c: be 動詞・一般動詞、現在進行形・過去進行形、未来表現について音声や機能を考えながら、支援を活用し、相手の意図の大枠を理解しようとしている。	リスニング ペアワーク プレゼンテーション
		読むこと	a: be 動詞・一般動詞、現在進行形・過去進行形、未来表現について音声や機能を考えながら、英文を正確に読み、内容を理解できる。 b: be 動詞・一般動詞、現在進行形・過去進行形、未来表現について音声や機能を考えながら、支援を活用し、英文を読み、内容を理解できる。 c: be 動詞・一般動詞、現在進行形・過去進行形、未来表現について音声や機能を考えながら、支援を活用し、英文を読み、内容の大枠を理解しようとしている。	音読 ワークシート 考査
		話すこと（やり取り・発表）	a: be 動詞・一般動詞、現在進行形・過去進行形、未来表現を使い、身近な事柄について正確に表現できる。 b: be 動詞・一般動詞、現在進行形・過去進行形、未来表現を使い、支援を活用し、身近な事柄について表現できる。 c: be 動詞・一般動詞、現在進行形・過去進行形、未来表現を使い、支援を活用し、身近な事柄について表現しようとしている。	ペアワーク プレゼンテーション
		書くこと	a: be 動詞・一般動詞、現在進行形・過去進行形、未来表現を使い、身近な事柄について正確に書くことができる。 b: be 動詞・一般動詞、現在進行形・過去進行形、未来表現を使い、支援を活用し、身近な事柄について書くことができる。 c: be 動詞・一般動詞、現在進行形・過去進行形、未来表現を使い、支援を活用し、身近な事柄について書こうとしている。	ワークシート 考査
	中間考査			
	LESSON 4 動詞の種類と時制② 基礎編 LESSON 5 動詞の種類と時制② 応用編 LESSON 6 英文ってなにからできているの?(1) LESSON 7 英文ってなにからできているの?(2)	聞くこと	a: 完了形や文型について音声や機能を考えながら、正確に相手の意図を理解できる。 b: 完了形や文型について音声や機能を考えながら、支援を活用し、相手の意図を理解できる。 c: 完了形や文型について音声や機能を考えながら、支援を活用し、相手の意図の大枠を理解しようとしている。	リスニング ペアワーク プレゼンテーション
		読むこと	a: 完了形や文型について音声や機能を考えながら、英文を正確に読み、内容を理解できる。 b: 完了形や文型について音声や機能を考えながら、支援を活用し、英文を読み、内容を理解できる。 c: 完了形や文型について音声や機能を考えながら、支援を活用し、英文を読み、内容の大枠を理解しようとしている。	音読 ワークシート 考査
		話すこと（やり取り・発表）	a: 完了形や文型を使い、身近な事柄について正確に表現できる。 b: 完了形や文型を使い、支援を活用し、身近な事柄について表現できる。 c: 完了形や文型を使い、支援を活用し、身近な事柄について表現しようとしている。	ペアワーク プレゼンテーション
		書くこと	a: 完了形や文型を使い、身近な事柄について正確に書くことができる。 b: 完了形や文型を使い、支援を活用し、身近な事柄について書くことができる。 c: 完了形や文型を使い、支援を活用し、身近な事柄について書こうとしている。	ワークシート 考査
	期末考査			

※令和４年度以降入学生用

2	LESSON 8 助動詞 基礎編(1) LESSON 9 助動詞 基礎編(2) LESSON 10 助動詞 応用編(1) LESSON 11 助動詞 応用編(2)	聞くこと	a: 法助動詞について音声や機能を考えながら、正確に相手の意図を理解できる。 b: 法助動詞について音声や機能を考えながら、支援を活用し、相手の意図を理解できる。 c: 法助動詞について音声や機能を考えながら、支援を活用し、相手の意図の大枠を理解しようとしている。	リスニング ペアワーク プレゼンテーション
		読むこと	a: 法助動詞について音声や機能を考えながら、英文を正確に読み、内容を理解できる。 b: 法助動詞について音声や機能を考えながら、支援を活用し、英文を読み、内容を理解できる。 c: 法助動詞について音声や機能を考えながら、支援を活用し、英文を読み、内容の大枠を理解しようとしている。	音読 ワークシート 考査
		話すこと (やり取り・発表)	a: 法助動詞を使い、身近な事柄について正確に表現できる。 b: 法助動詞を使い、支援を活用し、身近な事柄について表現できる。 c: 法助動詞を使い、支援を活用し、身近な事柄について表現しようとしている。	ペアワーク プレゼンテーション
		書くこと	a: 法助動詞を使い、身近な事柄について正確に書くことができる。 b: 法助動詞を使い、支援を活用し、身近な事柄について書くことができる。 c: 法助動詞を使い、支援を活用し、身近な事柄について書こうとしている。	ワークシート 考査
	中間考査			
	LESSON 12 受動態 基礎編 LESSON 13 受動態 応用編 LESSON 14 不定詞 基礎編(1) LESSON 15 不定詞 基礎編(2) LESSON 16 不定詞 基礎編(3)	聞くこと	a: 受動態、to 不定詞、原形不定詞について音声や機能を考えながら、正確に相手の意図を理解できる。 b: 受動態、to 不定詞、原形不定詞について音声や機能を考えながら、支援を活用し、相手の意図を理解できる。 c: 受動態、to 不定詞、原形不定詞について音声や機能を考えながら、支援を活用し、相手の意図の大枠を理解しようとしている	リスニング ペアワーク プレゼンテーション
		読むこと	a: 受動態、to 不定詞、原形不定詞について音声や機能を考えながら、英文を正確に読み、内容を理解できる。 b: 受動態、to 不定詞、原形不定詞について音声や機能を考えながら、支援を活用し、英文を読み、内容を理解できる。 c: 受動態、to 不定詞、原形不定詞について音声や機能を考えながら、支援を活用し、英文を読み、内容の大枠を理解しようとしている。	音読 ワークシート 考査
		話すこと (やり取り・発表)	a: 受動態、to 不定詞、原形不定詞を使い、身近な事柄について正確に表現できる。 b: 受動態、to 不定詞、原形不定詞を使い、支援を活用し、身近な事柄について表現できる。 c: 受動態、to 不定詞、原形不定詞を使い、支援を活用し、身近な事柄について表現しようとしている。	ペアワーク プレゼンテーション
		書くこと	a: 受動態、to 不定詞、原形不定詞を使い、身近な事柄について正確に書くことができる。 b: 受動態、to 不定詞、原形不定詞を使い、支援を活用し、身近な事柄について書くことができる。 c: 受動態、to 不定詞、原形不定詞を使い、支援を活用し、身近な事柄について書こうとしている。	ワークシート 考査
	期末考査			

※令和４年度以降入学生用

3	LESSON 17 不定詞 応用編 LESSON 18 動名詞 基礎編(1) LESSON 19 動名詞 基礎編(2) LESSON 20 動名詞 応用編	聞くこと	a: to 不定詞、動名詞について音声や機能を考えながら、正確に相手の意図を理解できる。 b: to 不定詞、動名詞について音声や機能を考えながら、支援を活用し、相手の意図を理解できる。 c: to 不定詞、動名詞について音声や機能を考えながら、支援を活用し、相手の意図の大枠を理解しようとしている	リスニング ペアワーク プレゼンテーション
		読むこと	a: to 不定詞、動名詞について音声や機能を考えながら、英文を正確に読み、内容を理解できる。 b: to 不定詞、動名詞について音声や機能を考えながら、支援を活用し、英文を読み、内容を理解できる。 c: to 不定詞、動名詞について音声や機能を考えながら、支援を活用し、英文を読み、内容の大枠を理解しようとしている。	音読 ワークシート 考査
		話すこと (やり取り・発表)	a: to 不定詞、動名詞を使い、身近な事柄について正確に表現できる。 b: to 不定詞、動名詞を使い、支援を活用し、身近な事柄について表現できる。 c: to 不定詞、動名詞を使い、支援を活用し、身近な事柄について表現しようとしている。	ペアワーク プレゼンテーション
		書くこと	a: to 不定詞、動名詞を使い、身近な事柄について正確に書くことができる。 b: to 不定詞、動名詞を使い、支援を活用し、身近な事柄について書くことができる。 c: to 不定詞、動名詞を使い、支援を活用し、身近な事柄について書こうとしている。	ワークシート 考査
	学年末考査			

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度